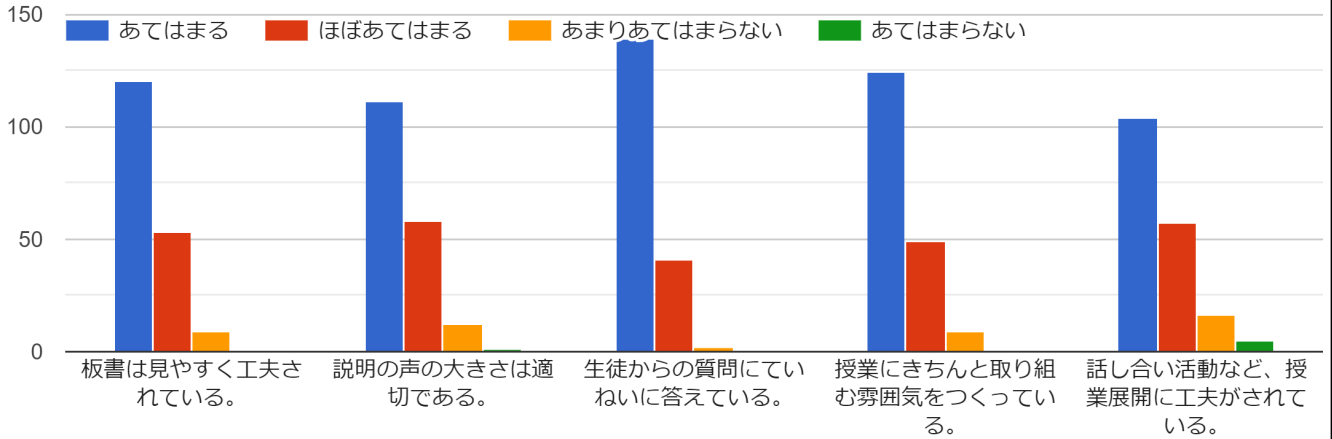


令和3年度 2学期 生徒授業評価アンケート

教科名： 家庭	重点目標：①生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させる。 ②進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。
---------	---

学習指導に関する現状と課題(2学期 生徒による授業評価アンケートより)

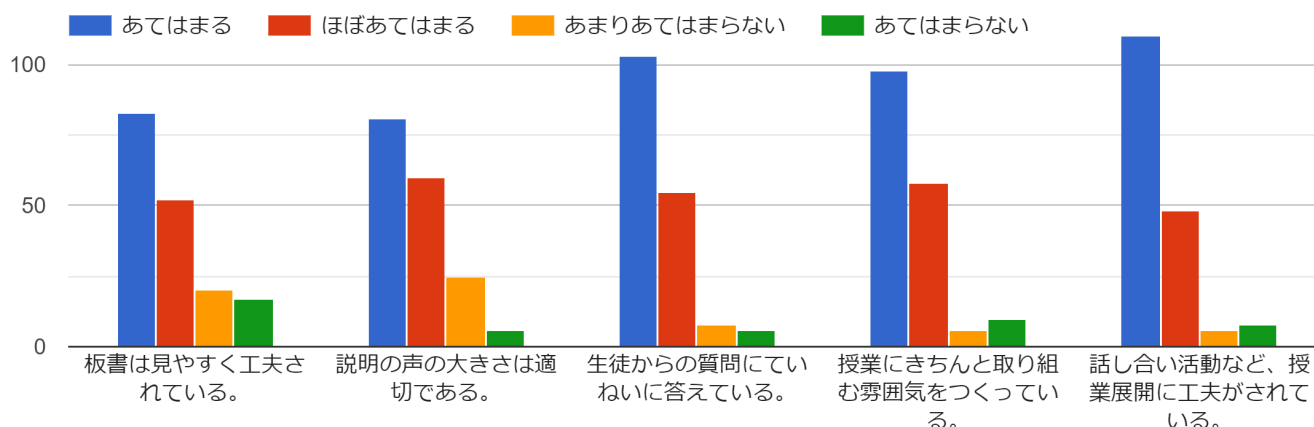
1年 家庭科の授業について



分析

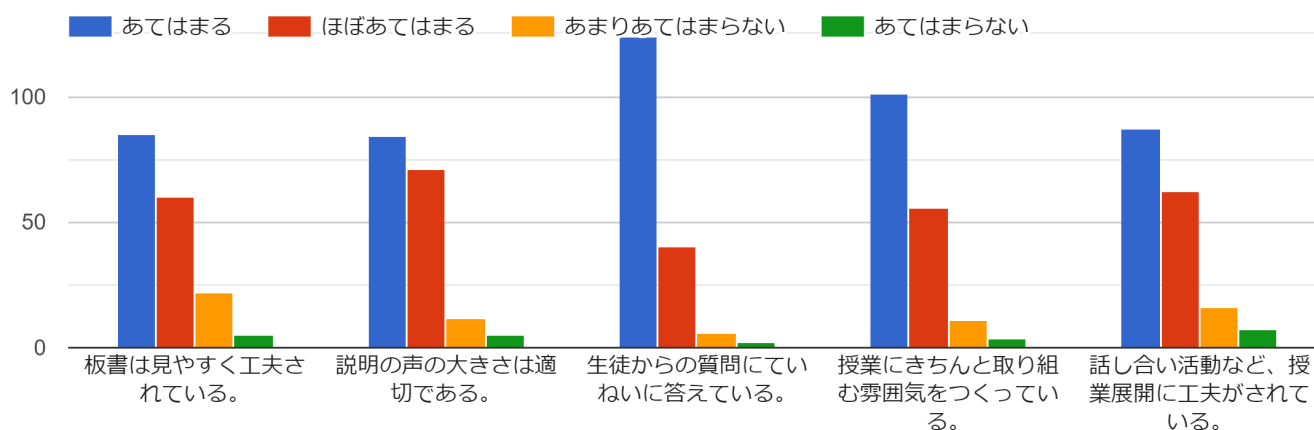
2学期は、物作りを中心に、実技授業が中心だった。生徒の進度も異なるため、机間指導で行っていたが、全体への説明がもう少し工夫が出来なかったか反省している。話し合いを行う展開が少なかったが、作業の中で、教え合いをするなど、生徒同士は主体的な活動を行っていた。ただ、被服室という比較的自由な空間で、動いたり私語が多くなったりするなど、規律を徹底できていなかったことが多々あった。3学期は「住生活」分野で、教室での授業に戻るのので、授業への取り組みを、再度強化させていく。また、「住まい」という身近なテーマの中で、話し合い活動も多く取り入れていきたい。

2年 家庭科の授業について



分析 2年生は「食生活」分野で、テーマに沿った献立作りなど、班ごとの活動を行ってきた。調理実習が出来ていない分、興味が薄れないよう、パワポの映像や教材開発に務めた。話し合い活動と発表の場面では、どのクラスも全員が前向きに参加していた。生徒同士の活動を、今後も意識して取り入れていきたい。また、期限を定めた提出物は、忘れる人がいるため、授業内でのプリント回収も増やし、評価材料を蓄積させていきたい。

3年 家庭科の授業について



分析 隔週の授業で、試験範囲をやり終えるため、一方的な授業になったのが反省点である。幼児分野という、関心が集められるところなので、少ない時間でも、話し合いなど取り入れられないかというのが、今後の課題である。幼児のおもちゃ製作で「くるりんぱんだ」を、現在進行している。3学期は完成させ、残り時間は「家族と自分」を振り返る時間をとるなど、卒業に向けた、取り組みを行っていく。